

<b>Title</b>	第7回ピア・スーパービジョン：実施結果：アンケート集計結果の概要 (総合研究所 NEWS：人間福祉スーパービジョンセンター)
<b>Author(s)</b>	聖学院大学総合研究所
<b>Citation</b>	総合研究所 Newsletter, Vol.21-No.1, 2011.6 : 27-29
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3066">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3066</a>
<b>Rights</b>	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

人間福祉スーパービジョンセンター  
第7回 ピア・スーパービジョン  
実施結果—アンケート集計結果の概要—

ピア・スーパービジョンとは保健・福祉現場などで対人援助の仕事をしている人たちが、同じ悩みや課題を持つ者として語り合い、日々の業務を見直すための研修交流会である。今回のプログラムは本学人間福祉学科卒業生を中心とした福祉のネットワークSWnet (Seigakuin Welfare Net) の企画運営によるものである。前半は3人の卒業生による福祉現場からの報告を聞き、後半は4つのグループに分かれてピア・スーパービジョンを行った。

日時 2011年2月26日(土)13:30～16:30

場所 新都心ビジネス交流プラザ4階会議室

【プログラム】

挨拶 柏木 昭(聖学院大学総合研究所名誉教授、スーパービジョンセンター顧問)

増山章子(聖学院大学人間福祉学科2004年度卒業)

ピア・スーパービジョンとは？

相川章子(聖学院大学人間福祉学科准教授)

卒業生からの報告

「障がい者福祉分野から」

紫藤彬子(人間福祉学科103W、2006年度卒業)

「高齢者福祉分野から」

秀村智香(人間福祉学科102W、2005年度卒業)

「精神保健福祉士から」

高橋成子(人間福祉学科104W、2007年度

卒業)

ピア・スーパービジョン

4つのグループに分かれての自由討議

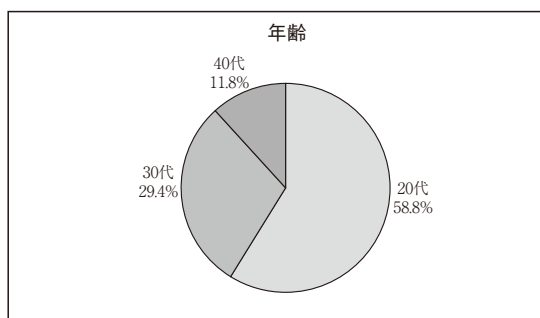
全体共有

コーディネーター 大島知子(人間福祉学科99W、2002年度卒業)

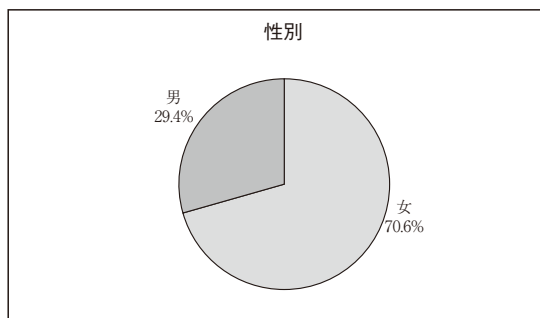
司会 長澤大輔(人間福祉学科98W、2001年度卒業)

\*参加者25名のうち17名から回答があった。

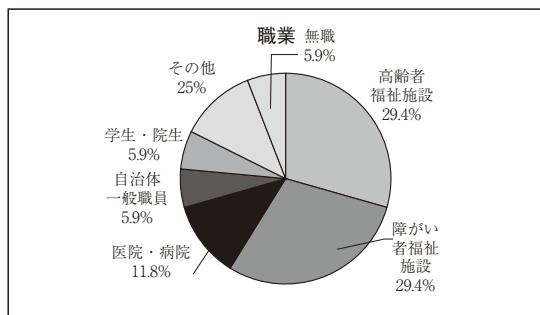
1. あなたのプロフィールについて



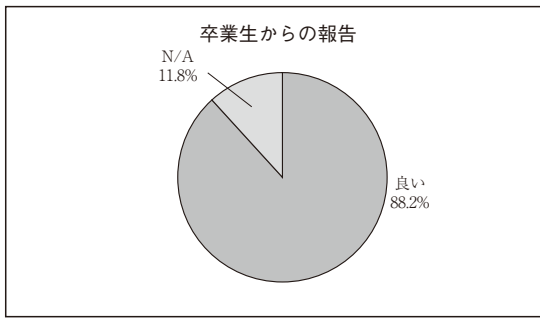
\*20代が約6割、30代が3割、40代が1割であった。



\*女性が7割を占めた。



\*高齢者福祉施設と障害者福祉施設に勤める人が最も多かった。ついで病院・医院勤務であった。



\* 無回答を除くと良いという評価であった。

## 2. 卒業生からの報告

- ・あれも同じ、これも同じというように、共感できる部分が全部で、発表全体で共通のテーマがあって聞きやすかった。
- ・実体験をお聞きできて共感でき、すごくよかった。
- ・大変な思いを乗り越えてきたこと、共感できることが多かった。
- ・私もそうだったと共感できるお話がきけてよかったと思います。
- ・さまざまは施設の方の思い、悩みがきちんと表れていて大変良かったです。
- ・現場は違うけれど、悩みが同じとわかると、悩むことは悪いことではないと思えました。
- ・福祉の現場で働く方の話は、共感することも多く、同じようにつらく感じます。じっくりと報告を聞くことができるので、他の職場の様子がわかって良かったです。
- ・独りでないんだなど感じることができました。
- ・ご自分のことがよくわかっている方々ですごい



3人の卒業生による、対人援助の現場からの報告を聞いた。

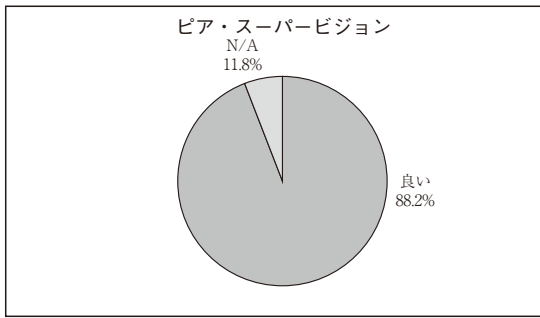


4つのグループに分かれてピア・スーパービジョンを行った。

- ・なあと感心するばかりでした。
- ・ステキなワーカーがたくさんいて、そのような人たちに出会えて良かったです。
- ・大変勉強になりました。
- ・私はPSW（精神保健福祉士）として現場で働いた経験はまだありませんが、現場で働く方からの生の声（悩み、問題、考え方などさまざまな思い）を聞くことができ、仕事へのイメージがわきやすくなりました。ネットや情報誌ではわからないことを聞くことができたと思います。
- ・現場の生の声が聞けて、不安要素が少し強くなりましたが、先輩方の体験談を参考にしてこれからがんばっていきたいと思いました。

## 3. ピア・スーパービジョン

- ・ワーカー独りで働く方が“気持ちを吐き出す場”ができてよかったと思います。たとえ解決はしなくても、この場が有る無いでだいぶ変化があると思いました。
- ・先輩の乗り越えた経験の話が聞けて良かったです。発信して受け入れてもらえ、別の視点で話していただけるプロセスで、また気づきを得られて良かったです。
- ・素直な気持ちで話ができる場は本当に必要だと思いました。
- ・今、自分の悩みに対して客観的に見つめることができた。
- ・少人数であったため話やすく、ランダムなグループ分けであったが全く違和感がなかった。
- ・（グループが）4人という人数でゆっくり発言が



\* 無回答を除くと良いという結果であった。

できよかった。

- ・どんな話になるか心配でしたが、すごく参考になった。
- ・いろいろな話ができてよかったと思います。
- ・初めて会う方もいるので、打ち明けて話をしていくには少し時間がかかるようです。時間が足りないとも思いました。自分の話をしてできて満足しています。
- ・これから社会に出て、福祉の仕事をする中で役に立つことをたくさん教えていただけて良かったです。
- ・これからも参加したいです。

#### 4. 自由意見

- ・ピア・スーパービジョンの機会を作っていただきありがとうございました。職場でもこういう場を作れるようにできたらと思います。ここでの気づきをまずは身近な人に発信することから始めたいです。
- ・自分の気持ちを確認する良い機会になりました。



実践現場でのかかわりについて、互いに見直し、思いを共有し、自己点検へとつなげてゆく。

た。ありがとうございました。

- ・また参加したいと思います。いろいろな職場の悩み、そしてその解決の方法がよくわかりました。
- ・せっかく広い会場を使っているのに、たくさんの方が来場してくれたらいいなと思った。卒業生以外の方もいらしてくれているので、仕事の話をするのができてよかった。柏木先生からご助言をいただきはげみになりました。職場に早く帰って取り組んでみたいです。
- ・悩みがどうしてもなく大変になる前には助けを求めさせていただきます。
- ・続けていただいて感謝するとともに、今後とも続けていただければと思います。第8回も参加したいと思います。
- ・大変ためになり良かったです。
- ・また参加したいです。
- ・人数が少なく残念。